



CHAPTER 1

はじめに

Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect C7 は Cisco WebEx Connect に電話機タブを追加します。この新しいスペースによってユーザのコンピュータはフル機能の電話機に変わり、コールの発信、受信、管理を行うことができます。

Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect C7 は、コール制御サービス、コール履歴、メッセージ待機インジケータ、メディアなどを提供するクライアント サービス フレームワークの統合を基盤としています。

クラウド内の Cisco WebEx Connect サービスは、残りのサービス（インスタント メッセージング、プレゼンス、スペースなど）を提供します。電話機タブから実行できる操作は次のとおりです。

- コールを発信および受信する。
- 音声メッセージ サービスを呼び出す。
- 通信履歴を表示する。
- 通信ペインのオプションを設定する。
- 電話機モードを切り替える。コンピュータからデスクフォンを制御するか、コンピュータ上の音声とマイクを使用して通話を処理するかを選択できます。これらのオプションを簡単に切り替えることが可能です。

サポートされるサーババージョン

製品	サポートされるバージョン
Cisco Unified Communications Manager	CUCM 7.1(3)
	CUCM 7.1(5)
	CUCM 8.0(1)
	CUCM 8.5
Cisco Unity with Microsoft Exchange 2003 または Microsoft Exchange 2007	Unity 8.0
Cisco Unity Connection	Unity Connection 8.0
	Unity Connection 8.5

Cisco Unified クライアント サービス フレームワークで発信トラフィックに使用されるポート

ポート	プロトコル	説明
69	UDP	Trivial File Transfer Protocol (TFTP) ファイルをダウンロードするために TFTP サーバに接続する。
2748	TCP	Cisco Unified Communications Manager の CTIManager コンポーネントである CTI ゲートウェイに接続する。
5060	UDP/TCP	Session Initiation Protocol (SIP; セッション開始プロトコル) コールシグナリングを提供する。
5061	TCP	セキュアな SIP コールシグナリングを提供する。
8443	TCP	Cisco Unified Communications Manager IP Phone (CCMCIP) サーバに接続し、現在割り当てられているデバイスのリストを取得する。
16384-32766	UCP	オーディオ用の RTP メディア ストリームを送信する。
16384-32766	UDP	オーディオおよびビデオ用の Receives Real-Time Transport Protocol (RTP) メディア ストリームを受信する。これらのポートは、Cisco Unified Communications Manager で設定されます。

クライアント コンピュータの要件

Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect のハードウェア要件

項目	説明
メモリ	Microsoft Windows 7 : 2 GB
	Microsoft Windows Vista : 2 GB
	Microsoft Windows XP : 1 GB
使用可能なディスク領域	200 MB

項目	説明
接続	ダウンロード帯域幅：80 Kbps アップロード帯域幅：80 Kbps
プロセッサ	
デスクトップ	2.4 GHz
ラップトップ	1.8 GHz

Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect のソフトウェア要件

項目	説明
オペレーティング システム	Windows 7 Professional または Ultimate、32 ビットまたは 64 ビット (WOW モード) Windows Vista SP2 Business または Ultimate、DirectX 10 対応、32 ビットまたは 64 ビット (WOW モード) Windows XP SP3、DirectX 9.0c 対応、32 ビットのみ 最小ディスク領域は 80MB

サポートされる Cisco Unified IP Phone

次の表に、Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect C7 でサポートされる Cisco Unified IP Phone モデルおよび Skinny Call Control Protocol (SCCP) と Session Initiation Protocol (SIP) がサポートされているかどうかを示します。

電話機	SCCP	SIP
Cisco IP Communicator	○	○
9971 (ビデオあり/なし)	×	○
9951	×	○
8961	×	○
7985G	○	×
7975G	○	○
7971G	○	○
7970G	○	○
7965G	○	○
7962G	○	○
7961G-GE	○	○
7961G	○	○
7960G	○	×
7945G	○	○
7942G	○	○
7941G-GE	○	○
7941G	○	○

電話機	SCCP	SIP
7940G	○	×
7931G	○	×
7925G	○	×
7921G	○	×
7920G	○	×
7912G	○	×
7911G	○	○
7910G	○	×
7906G	○	○
7905G	○	×
7902G	○	×
6961	○	×
6941	○	×
6921	○	×

テスト済みのオーディオ デバイス

Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect でテスト済みのオーディオ ヘッドセットを次に示します。

- Polycom Speakerphone USB
- ClearOne CHAT 50 USB
- Jabra GN8110 USB
- Jabra GN8120 USB
- Jabra GN9120
- Jabra Advantage Plus
- Plantronics CS50
- Plantronics CS60
- Plantronics DA60 USB
- Plantronics DSP-400
- Plantronics DA55 USB
- Plantronics Voyager 510 Bluetooth
- Clarisys i750
- Futiro USB
- Sonic EV-87
- PLANTRONICS Blackwire C620
- Logitech USB H330
- Logitech960 USB
- SONIC DT-301

- Lenonvo
- PLANTRONICS WG200
- PLANTRONICS W430

Cisco IP Phone の詳細については、言語、電話機モデル、Cisco Unified Communications Manager リリース固有のマニュアルを参照してください。次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/cisco/web/psa/maintain.html?mode=prod&level0=278875240>



(注)

7931G 電話機を Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect で正しく機能させるためには、Cisco Unified Communications Manager の [Outbound Call Rollover to] フィールドの値を [No Rollover] に設定する必要があります。

音声の品質

Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect は、さまざまな条件下で最高品質の音声を提供できるように設計されています。状況によって、音声伝送の中断や音声の一時的な歪み（「アーティファクト」）が発生する場合がありますが、これらはアプリケーションの通常の動作と見なされます。ただし、次のような場合は、このようなアーティファクトが発生することはほとんどなく、発生しても一時的です。

- Cisco UC Integration for Cisco WebEx Connect が推奨される設定の要件を満たすワークステーションにインストールされている。
- Cisco Unified Communication ソリューションリファレンスデザインのドキュメントで推奨されている品質基準を満たすネットワークを使用している。

シスコで採用しているオペレーティングシステムとのインターフェイス方法により、システム上で実行している他のアプリケーションがソフトフォンの音声やビデオの品質に悪影響を及ぼす可能性は少なくなります。ただし、これらの製品を実行するシステム環境に共通する特性は Cisco IP Phone などの閉鎖された環境と非常に異なるため、同等のパフォーマンスを実現できるという保証はありません。

アーティファクトの原因となりうる条件を次に示します。

- アプリケーションやシステム プロセスの起動、または、他のアプリケーションの実行中にシステム処理が発生することに起因する PC の CPU 使用率のスパイク（CPU 使用率が 75 ~ 100% に達する場合）。
- システムで使用できる物理メモリが不足している。
- 他のアプリケーションがネットワーク ワークステーションとのやり取りで大量の帯域幅を使用している。
- 他のネットワーク帯域幅に障害がある。
- 電源管理ポリシーにより CPU クロック速度が大幅に低減する（電池で稼動しているラップトップなど）、または断熱システムにより負荷の非常に高い状態で CPU が実行される。
- サードパーティ製ソフトウェアからの干渉など、アプリケーションがネットワークや音声システムにタイミングよくアクセスできない原因となるその他の条件。

上記の条件を回避または回復することにより、音声の歪みに関するアーティファクトを最小限に抑えることができます。

特記事項



警告

重要なお知らせ - 必読：緊急時、たとえば 911 番などにコールする場合、ソフトフォン テクノロジーでは適時かつ正確な位置データを提供できない可能性があります。不適切な緊急応答センターにコールが発信されたり、緊急応答センターで正確な位置が把握できない場合があります。緊急時には、自己の責任においてソフトフォンをお使いください。シスコは、発生したエラーまたは遅延の責任を負いません。